

J R 総連通信

2016年9月30日 No.1221

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

韓国公共運輸労組のゼネストを激励・連帯！

パク・クネ政権による成果年俸制導入反対！



JR総連と永年に渡り交流している韓国鉄道労組、ソウル地下鉄労組、釜山地下鉄労組をはじめとする韓国の労働者は9月26日、パク・クネ政権が強行しようとしている、公営企業への成果年俸制（成果給の要素を加味した年俸制）導入反対を要求の柱とするゼネストに突入した。JR総連は、9月29日にソウルで開催された韓国公共運輸労組主催の総決起集会に代表団を派遣した。

集会の前後に開催された韓国鉄道労組、ソウル地下鉄労組の集会で、JR東労組山口書記長が連帯の挨拶をし



たほか、6万人が参加した公共運輸労組主催の集会では、ITF派遣団と共に壇上に立ち、連帯の意思を表明した。

今回のゼネストでは、韓国の二大ナショナルセンターの共闘が実現。ナショナルセンター民主労総の委員長が拘留されるという緊迫した状況の中で開催された今回のゼネストは、過去最大規模のゼネストとなっている。

総決起集会終了後、ソウル市と成果年俸制導入見送りで合意したことから、ソウル地下鉄労組、ソウル都市鉄道労組のストライキは解除されたが、韓国鉄道労組、釜山地下鉄労組をはじめ多くの労組はストを継続しており、長期化も辞さない構えだ。

JR総連は、永年の連帯で培ってきた韓国労働者との固い絆を基礎に、勝利のための連帯を続けていく。

